

議 事 録

件 名	第24回学校安全対策委員会	
日 時	令和元年12月19日(木) 18:30~19:40	
場 所	久留米市庁舎13階1303会議室	
出席者	委 員	新山委員長、広津副委員長、古賀委員、馬場園委員、原委員、綾部委員、佐野委員、宋委員、井上委員、川上委員、今村委員、瀧上委員、平田委員
	事務局	【学校教育課】石橋、平島、内田 【安全安心推進課】岡、井上
欠 席 者	福永委員	
傍 聴 者	なし	
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 対策委員会の役割と今後の主なスケジュールについて 3. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 正・副委員長の選出 (2) 具体的施策(取り組み)について (3) 今後のデータ収集について 4. その他 5. 閉会 	
質 疑	<ol style="list-style-type: none"> 2 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 対策委員会の役割と今後の主なスケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全推進課より報告 ・報告のみ 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 正・副委員長の選出について(事務局提案) <ul style="list-style-type: none"> ・委員長に新山委員、副委員長に広津委員を選出 (2) 具体的施策(取り組み)について(学校教育課より提案) <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2(推進の骨格)、資料3(今後の基本方針について)、資料4(具体的施策の検討)をもとに、これからの学校安全対策委員会の施策・取り組み方針、成果指標について提案します。8項目を5項目に整理します。 <p>【委員①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの取組で、意識がどのように変化してきたか。施策を整理することでの効果は。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に対する意識が向上してきた。 ・教師が指導するという意識から、子どもたちが活動するという意識へと変化してきた。 ・施策を整理することで、学校と地域との協働意識が深まる。 ・危険箇所を子どもに理解させるために、教師の理解も深まり、子どもの活動、理解と教師の指導との一体化がより図られる。 	

<p>質 疑</p>	<p>【委員②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケガをさせないための環境づくりは、どのようになっているか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学校も毎月1回、安全点検を行い、故障部分は修理を行っている。 <p>【委員②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根源対策はどうか。 <p>【委員③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものは安全であっても、その使い方や指導の不適切さでけがが起きることもある。子どもの意識づけだけでなく、教員の安全意識の向上も基盤として重要。 <p>【委員②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全点検指導の部分も表記に加えるようにしたらどうか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・了承 <p>【委員④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと日常的に接し、地域と学校が連携していくことが大切。 <p>【委員⑤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンゾーンや白線が消えているところがある。濃くしてほしい。 <p>【委員③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路のハード面の不備の点検も行い、道路管理者に伝えている。学校に報告を上げてほしい。 <p>【委員⑥】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会からまちづくり振興会を介して、学校に伝えるようにしている。 <p>【委員⑦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が防災訓練を合同開催している事例はあるか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の引き渡し訓練は、5校で行った。防災訓練として合同で行っている事例はまだない。実施に向けて協議していく。 <p>【委員⑧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとに実態があり、個別的対応で難しい。 <p>【委員④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼校区には、プラスチックボートが導入され、少しずつ取り組みが進んでいる。 <p>【委員②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハードの面の整備の申請の仕方を教えてほしい。 <p>【委員①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAで申請される場合もある。 <p>【委員②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA会費での負担があるのか。
------------	---

<p>質 疑</p>	<p>【委員①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そういう自治体もある。 <p>【委員②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 危険個所に関する予算は、つけるという姿勢でいてほしい。 <p>【委員①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本課としては、そう思っている。 <p>【委員⑧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前任校で、地域の防犯協会の方と子どもと一緒に校区を回ることで、一緒に危険個所を学ぶことができた。 ・ 8項目を5項目に整理することを承認していいか。 <p>承認</p> <p>(3) 今後のデータ収集について</p> <p>【事務局 安全・安心推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料5、資料6（実態調査と意識調査について）をもとに、これからのデータ収集の見通しを提案 ・ 来年度、市民意識調査、SC実態調査を行う。今後は、5年ごとに調査を行う。 <p>【委員⑧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「外傷サーベイランス」とは、何か。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外傷を調査するデータのこと。 <p>【委員②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意識調査を5年ごとにするということがか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意識調査自体は、毎年行う。SCに関する設問を3年に1から、5年に1回にするということ。 <p>4. その他</p> <p>【委員⑨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認証を受けたことは素晴らしいことだが、地域で何かをしようとしても平日働いている保護者は参加が難しいと言われる。ここで話し合われているようなことは、本当にできるのだろうか。地域の実態はそれぞれであり、すべての地域に当てはまることを、市全体として考えることは難しいのではないか。 <p>【委員⑤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SCの認知度を高めていくために、決めたことを地域にどうおろしていくかが課題。 <p>【委員③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校安全に対する学校の取組は、各学校が状況に応じて取り組んでいる。既存の取組を使って、行うことが大切。 <p>【委員⑧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域とのかかわりは重要。地域人材を育成し、すそ野を広げることも課題。
------------	--